

令和4年度 事業報告

令和4年度、サッカー・ワールドカップ2022と2023ワールド・ベースボール・クラシックでの日本代表チームの活躍により、スポーツで日本中が歓喜に沸くといった明るい話題のある年度となりました。しかし一方では、新型コロナ感染症、ロシア／ウクライナ問題や為替変動、物価高騰など、世界規模での不安定な情勢がすすみ、日本にも大きな影響を及ぼす事象が続く年となりました。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症については、感染の拡大と一時的な収束を繰り返しながら、日本では第8波の流行を乗り越え、ようやくマスクをはずしての日常に戻りつつあるところです。しかし、ウイズコロナで感染防止策を徹底し、感染リスクを抑えながら生活することに変わりありません。トラック事業も「エッセンシャルワーカー」として、ドライバーはじめ運送事業に携わる皆様の「物流を止めない」という使命を全うしていただけてまいりました。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は1年以上を経過した今も戦闘が続きます。多くの尊い命が失われ、国連による世界平和の枠組みも機能不全のまま戦争終息の見込みも立っていません。これによりエネルギーの安定供給が脅かされるとともに、外交・安全保障面の厳しさが増していることを認識する年となりました。世界的な燃料価格や物価の高騰に加え、為替の円安も日本の経済に大きな影響を及ぼすこととなりました。

コロナ禍で苦境に立たされたトラック事業を、燃料高騰・物価高が一層苦境に追い込む状況で、事業の存続が危ぶまれる事態になりつつあります。

令和2年4月に告示された「標準的な運賃」については、安定した事業経営と持続可能なトラック輸送の土台となるもので、国土交通省への届出を三重県トラック協会の9割を超える会員事業所様に済ませていただいています。届出に続いて期待される実運賃への活用や荷主様への浸透については、まだ十分とはいえないため、取引環境の改善とともに運賃収受の取り組み支援の継続が必要です。

労働力に関しては、慢性的な人材不足に加え、自動車運転業務での年960時間の時間外労働の上限規制(罰則付き)が、現在は適用猶予となっていますが、令和6年4月からの適用へと期限が近づいてきました。また、昨年末には自動車運転者の労働についての「改善基準告示」が改正され、こちらも令和6年4月からの適用となります。

さらに、既に大企業には適用されていた月60時間を超えた時間外労働の割増賃金率50%については、本年4月から中小企業の労働者についても同様の割増しが必要となっています。

このように、労働についての時間管理の必要性と働きやすい職場環境づくりなど、運送事業を取り巻く労働環境が大きく変わっていることについての周知も積極的に進めてきたところです。

このほか、令和4年度より三重県トラック協会の組織内に「危機管理検討委員会」を設置致しました。災害時等の緊急輸送対応などに関する委員会となり、非常時対応・社会要請に応えることができる緊急輸送体制の構築を進めることとなりました。

また、行政の行う防災訓練への参加と「災害物流専門家」養成のための研修を実施しました。

こうしたなか、燃料高騰に関して、行政からの積極的な支援策を要望してきたところ、三重県から「貨物自動車運送事業者燃料高騰対策支援金」として、運送事業者向け対応が決まり、普通・特種自動車は35,000円／1台、小型・軽自動車は6,000円／1台の支援金を事業者の皆様にお受け取りいただいたほか、一部の市町においても支援金の給付が行われました。

その他、下記の取り組みを推進して参りました。ご確認ください。

1. 交通安全対策事業

「トラック事業における総合安全プラン2025」では、事業用トラックを第一当事者とする死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台当たり「6.5人以下」とする目標と「飲酒運転ゼロ」を策定しています。「飲酒運転ゼロ」が運送事業において未だ達成できない現状を受け、広報啓発を四期の交通安全運動時に集中的に行ったほか、健康管理のセミナーと健康起因事故防止セミナー、プラン2025目標達成にむけての事故防止セミナーを開催しました。

また、「安全宣言200days」で会員様参加型の無事故無違反ラリーを実施。達成チームの表彰を行い、安全への取り組みを進めました。また、新人ドライバー対象の「初任運転者研修」は、集合型研修とEラーニング教育の2本立てで実施致しました。

他には、大型車の通行について自社にて通行許可申請ができる事を目標に、特殊車両通行許可や確認制度のセミナーとオンライン申請の勉強会も開催いたしました。

2. 環境対策事業

10月9日は「トラックの日」、県下9各支部において地域の実情に応じた道路の清掃活動を行っています。また、会員事業所に交通安全と環境保全ののぼり旗を配布しました。

「環境にやさしいトラック輸送」では事業所宣言と取り組み結果の確認。SDGs啓蒙などにより環境対策を推進しました。

3. 近代化対策・事業経営対策事業

「標準的な運賃活用／運送原価セミナー」を開催し、適正な運送原価の把握と標準的な運賃を活用しての荷主交渉について2日間コースでの研修を行いました。

また、「物流セミナー」では、ウイズコロナに向けた日本経済の活性化～経済・雇用政策はどうあるべきか～のテーマで、会員様と取引荷主に向けての講演会をおこないました。

4. 労働対策事業

人材確保に向けた取り組みとして「物流見学会」を開催。一般の方の家族参加で会員事業所にお越し頂いての現場見学を実施しました。物流についての知識や関心を持っていただく企画として、今後も継続する取り組みを始めました。また、求職者向けに「就職説明会／面接会」をハローワーク津との共同で、会員様参加により就職支援活動を実施したほか、「インターンシップ」による学生の職場体験の推進、トラック協会ホームページでの求人会員様の公開と求人サイト開設支援による連携強化にも取り組みました。

「労働セミナー」「働き方改革対応セミナー」では、労働時間・運転者の改善基準等の労働関係／経営改革についての進め方やスケジュールを学びました。

「働きやすい職場認証制度」については内容の周知とともに、☆・☆☆認証条件に対応できる職場づくりの支援セミナー等を実施し、会員事業所の取り組み支援を行いました。

5. その他、安全性優良事業所Gマークの推進と引越事業の基礎講習、引越優良認定のための管理者講習を実施したほか、地元選出国會議員等に対してトラック業界からの税制・予算要望をにおこない、自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現、特例優遇措置の延長・拡大、高速道路料金の大口・多頻度割引最大50%の継続等を要望しました。

また、燃料高騰に対する業界支援策、道路ネットワークの整備、PA・SAでの駐車場拡充、市街地の荷捌き駐車場の整備など、諸課題への対策実現に向けた関係行政機関への要望活動も展開致しました。

1. 会員の入退会状況

支部	期首会員数	入会	退会	支部間移動		期末会員数
				転出	転入	
桑員	104	2	1	0	0	105
北勢	298	7	9	1	0	295
鈴鹿	166	3	2	2	1	166
津	122	6	1	1	1	127
松阪	126	8	2	0	0	132
南勢	71	0	1	0	0	70
伊賀	93	3	3	0	0	93
紀北	23	1	0	0	0	24
南紀	8	0	0	0	0	8
旧営業区域のみ	5	0	0	0	0	5
利用運送事業	17	0	0	0	2	19
合計	1,033	30	19	4	4	1,044

① 入会員名（日付順）

名称	代表者	所在地	区分
磯部興業(株) いなべ営業所	伊藤 亮之介	いなべ市大安町南金井2571-1	桑員
(株)ケーアイトランス	山田 清隆	名張市南町717番地2	伊賀
箕輪総合商事(株)	箕輪 綾香	松阪市嬉野小村町573	松阪
(有)吉開通商 三重営業所	吉開 将直	鈴鹿市下大久保町2224-72	鈴鹿
ガスプロダクツ・ロジスティクス(株) 亀山ローリー営業所	田中 剛介	亀山市白木町字西大谷1700番地5	鈴鹿
ジャパンロジコム(株) 三重営業所		三重郡菰野町大字竹成290	北勢
(株)トシエンジニアリング 本社営業所		津市河芸町大字三行大門166-1	津
(有)根本	根本 得郎	四日市市内堀町180番地	北勢
(株)A-ONE	森下 力丞	四日市市采女町2997-111	北勢
(株)東華商事	東 元美	多気郡明和町大字上村1172番地2	松阪
(株)T. L. C		伊賀市大滝223-1	伊賀
(有)南陽運送 三重営業所	山本 将博	三重郡川越町亀崎新田116	北勢

名 称	代表者	所 在 地	区分
(有)山下技建	山下 達也	四日市市ときわ四丁目6-14	北勢
YAMATO(株)	谷口 公彦	伊賀市服部町758番地の5	伊賀
ヤタガワ物流サービス(株) 松阪営業所		松阪市上川町3698	松阪
(株)重建	松本 滉一	松阪市下村町860-3	松阪
マルエ高速(株) 三重営業所	竹内 裕之	多気郡明和町馬之上968-20	松阪
(株)MK商事	小林 誠	津市芸濃町椋本3530-12	津
(株)ロジスティクス・サポート 鈴鹿営業所	大湯 正和	亀山市川崎町1145-1 フラワーアイランドのぼ のB215号	鈴鹿
(有)ダストパン		松阪市上川町2739-10	松阪
(株)中平鋳金	中平 博文	尾鷲市中川27-14	紀北
ワンステップ(株)	伊藤 敦啓	松阪市上川町2739番地62	松阪
(株)海幸	金沢 恵美	松阪市狛師町347-1	松阪
藤田建材	藤田 正勝	津市香良洲町1043	津
PEACE carry(株)	増田 弘樹	津市河芸町東千里551	津
(株)米正	米満 正宏	三重郡川越町亀崎新田11-28	北勢
東海産業(株) 桑名営業所	稲井 望	桑名市大字東方字福島前753-2 桑名市東方ビル 1階	桑員
NXキャッシュ・ロジスティクス(株) 三重センター		津市桜橋3丁目402番地	津
(株)ウエスト1 三重営業所		四日市市采女町1837-7-107	北勢
(株)山武商店荷役	畑 竜次	津市白山町南家城104-1	津

② 退会員名 (日付順)

名 称	代表者	所 在 地	区分
(有)ピーディーライン	小林 達也	四日市市楠町北五味塚字市場55番4号	北勢
(株)ライフサポートカンパニー	長山 真	鈴鹿市下大久保町2433	鈴鹿

名 称	代表者	所 在 地	区 分
小林商運(株)	小林 みゆき	志摩市阿児町鵜方230-2	南勢
富一運送(有)	野呂 源一	三重郡川越町大字豊田204	北勢
(有)モリキュウ	森 喜信	鈴鹿市三日市2丁目25-22	鈴鹿
ワイティサービス		四日市市桜花台2丁目28-1	北勢
野島運送(株)		三重郡川越町大字南福崎字五町縄944-1	北勢
中部営業所			
(株)メイハン	田畑 博	名張市東田原2175	伊賀
(株)新興商運	諸岡 勝己	四日市市富士町9-24	北勢
吉田海運(株)		桑名市長島町押付90-7	桑員
中部支店三重営業所			
コトブキ運輸商事(有)		四日市市桜花台二丁目28-1	北勢
松岡重機工業(株)	松岡 重行	四日市市松原町15番1号	北勢
今西物流(株)		伊賀市佐那具町994-17ファミールビレッジA棟101	伊賀
三重伊賀営業所			
三光運輸(株)	野呂 春代	松阪市飯南町横野字殿垣内195	松阪
ダイヤ通商(協組)	平松 成彦	津市高茶屋7丁目5番52号	津
(有)東洋商事	岡本 拓也	多気郡明和町大字斎宮4573	松阪
(株)ハラ商運	原 篤	三重郡菰野町菰野3045番地1	北勢
(有)松橋商事	松橋 隆二	四日市市前田町21番1号	北勢
(有)丸和商会	木原 宏	名張市つつじが丘北5番町103	伊賀

2. 会議等の開催状況

・政策協議会

年月日	議事事項
令和4年5月11日	①新トラック会館 改修工事等について ②令和4年度通常総会の開催要領 ③令和4年度通常総会上程議案関係 (1) 令和3年度 事業報告・公益目的支出計画実施報告について (2) 令和3年度 収支決算報告（貸借対照表、正味財産増減計画書） (3) 役員の変更について (4) 常勤役員報酬について (5) 令和4年度事業計画及び収支予算 (6) 三重県トラック協会運転者表彰候補について ④その他
令和4年7月6日	①全ト協、中ト協、関係団体、三ト協委員会等の構成について ②当面の事業推進（新年度事業）について ③その他
令和4年9月21日	①各委員会からの報告（業務、適正化、危機管理検討委員会） ②全日本トラック協会全国事業者大会について ③労使懇談会に代わる要請事項の回答について
令和4年12月21日	①各委員会からの報告（業務運営委員会・危機管理検討委員会） ②令和4年度助成事業の進捗状況 ③令和5年度事業計画（骨子）について ④当面の諸問題 荷主取引／運賃要請 ⑤その他
令和5年2月28日	①令和4年度事業の進捗と助成事業の状況 ②令和5年度事業計画（基本計画）と概算予算案（案）について ③当面の諸問題 ④その他

・理事会／交付金運営委員会

年月日	議事事項
令和4年5月18日	①第46回近代化融資第2次の推薦について ②新トラック会館関連 改修工事等について ③令和4年度通常総会上程議案について (1) 令和3年度 事業報告及び公益目的支出計画実施報告書承認 (2) 令和3年度 貸借対照表、正味財産増減計画書について (3) 役員の変更 (4) 常勤役員報酬 (5) 令和4年度事業計画・収支予算書及び資金ベース予算書（参考） ④令和4年度通常総会 開催要領（案） ⑤令和4年度通常総会 運転者表彰規定に基づく被表彰者の決定 ⑥その他

年月日	議事事項
令和4年7月22日	①県ト協各委員会の選任について ②当面の事業推進(新年度事業)について ③トラックの日の行事について ④第46回近代化融資第3次の推薦について ⑤その他
令和4年10月19日	①助成金の進捗状況について ②第46回近代化融資第4次の推薦について ③各委員会からの報告(業務、適正化、危機管理検討委員会) ④青年部トラックの日行事について ⑤貨物自動車運送事業者燃料高騰対策支援金と取扱事務局等 県の補助金及び市町での補助制度(津市・大台町・志摩市) ⑥新トラック会館 改修工事と今後のスケジュール ⑦標準的運賃の届出状況
令和5年1月17日	①各委員会からの報告(業務運営委員会・危機管理検討委員会) ②事業の進捗と助成事業の状況 ③第46回近代化融資第5次の推薦について ④三重県燃料高騰対策支援金について ⑤令和5年度事業計画 基本方針について ⑥当面の諸問題等 ⑦今後の行事日程 ⑧三重県トラック協会移転に伴う法人登記について
令和5年3月8日	①令和4年度交付金及び一般会計予算執行状況の承認について ②令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認について ③令和5年度近代化融資推薦について ④会費未納会員(資格喪失)の取扱について ⑤今後の行事予定について ⑥その他

・業務運営委員会

年月日	議事事項
令和4年8月9日	①業務運営 所管事業の確認 ②正副委員長の選出 ③令和4年度の事業運営 (1)働きやすい職場認証及びSDGsの取り組み (2)ハローワーク就職説明会 (3)求人情報サイトの構築 ④その他/意見交換
令和4年12月19日	①燃料高騰対策支援金について ②今年度事業の実施状況 ③標準的な運賃の届出状況について ④年度後半から次年度にかけての取り組み 会員サービス等 ⑤その他

年月日	議事事項
令和5年2月16日	①燃料高騰対策支援金 最終申請報告 ②今年度の事業運営 (1)今年度事業の実施状況 (2)標準的な運賃の届出状況について ③次年度の事業計画策定に向けて ④最近の情勢や意見交換 ⑤その他

・適正化運営委員会

年月日	議事事項
令和4年8月10日	①新委員の紹介 ②令和4年度適正化事業の推進状況報告 ③令和4年度巡回訪問の結果報告 ④令和4年度物流セミナーについて
令和5年2月17日	①令和4年度適正化事業の報告 ②令和4年度巡回訪問の結果報告 ③令和5年度適正化事業計画(案)・事業予算(案) ④令和5年度物流セミナーについて


・適正化事業実施機関評議委員会


令和5年3月23日	①令和4年度適正化事業の報告 ②令和4年度巡回訪問の結果報告 ③令和5年度適正化事業計画
-----------	--


・危機管理検討委員会

令和4年8月10日	①業務運営 所管事業の確認 ②正副委員長の選出 ③令和4年度の委員会運営 (1)トラック協会内の危機対応 (2)行政からの緊急物資輸送要請 (3)会員事業所の危機対応 (4)災害物資専門家研修
令和4年12月19日	①年末年始の危機対応に関して ②県・市町からの緊急輸送要請と本部・支部の関係性や役割の整理 ③緊急輸送対応の登録会員について ④災害物資専門家研修について ⑤その他/意見交換
令和5年2月16日	①危機管理検討委員会の連絡網について ②緊急輸送体制 次年度の取組計画 ③災害物資専門家研修開催報告

3. 重要事項／重点取組み

項目	内容	補足事項
改善基準告示の見直し	<p>年960時間の時間外労働規制に合わせて自動車運転者のための労働時間等の改善基準が令和4年12月23日に告示されました。</p> <p>拘束時間 1年 3,300時間以内 1ヶ月 284時間以内 1日 13時間以内 (上限15時間以内)</p> <p>1日の休息期間 継続11時間以上 9時間を下回らない</p> <p>連続運転時間 4時間以内 運転の中断は休憩する</p> <p>予期し得ない事象(事故、故障、災害等)の対応に要した時間の規制適用除外が設けられました</p>	<p>令和6年4月1日より適用</p> <p>・例外 拘束時間 1年 3,400時間以内 1ヶ月 310時間以内 年6ヶ月まで 284時間超は連続3ヶ月まで 1ヶ月の時間外100時間未満に</p> <p>1 運行が450km以上の長距離運行 16時間まで延長可(週2回まで)</p>
遠隔点呼	<p>令和4年4月1日より、要件を満たす機器・システムを用いて遠隔拠点間でおこなう点呼が実施できる「遠隔点呼」の申請が始まりました</p> <p>「遠隔点呼」はGマークを取得していない事業者でも実施することができ、対面点呼を実施したものとして取り扱うことができます。</p>	<p>機器・システム要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ・モニターで、顔の表情、全身、酒気帯びの有無、疾病、疲労、睡眠不足等の状況を確認できる ・なりすまし防止のため生体認証機能 ・点呼結果や故障記録の電磁的保存 <p>環境要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境照度 ・監視カメラの設置 ・通信、通話環境の確保
乗務後の自動点呼	<p>令和5年1月より国土交通省の認定を受けた機種を利用して乗務後の点呼が自動で行うことが出来るようになりました。</p>	<p>乗務後点呼のみの自動化ですが、今後乗務前点呼の自動化の実証実験も予定されています。</p>
自動車検査証の電子化	<p>令和5年1月4日から交付される自動車検査証が電子化されました。</p> <p>詳しい情報はICタグに記録されます。</p>	<p>記録内容はICカードリーダーが接続されたPCや読み取り機能付きスマートフォンで参照可能です。</p>
安全性優良事業所	<p>全日本トラック協会は令和4年12月15日安全性優良事業所の認定を行いました。</p> <p>事業所(営業所)ごとに認定され、全国で28,696事業所がGマークを取得しています。</p> <p>法令順守や交通安全対策などの取り組みを評価し基準をクリアした事業所を認定する制度です。</p>	<p>全事業所の33.0%が認定されています。</p> <div data-bbox="1155 1720 1437 2018" style="text-align: center;">  </div>

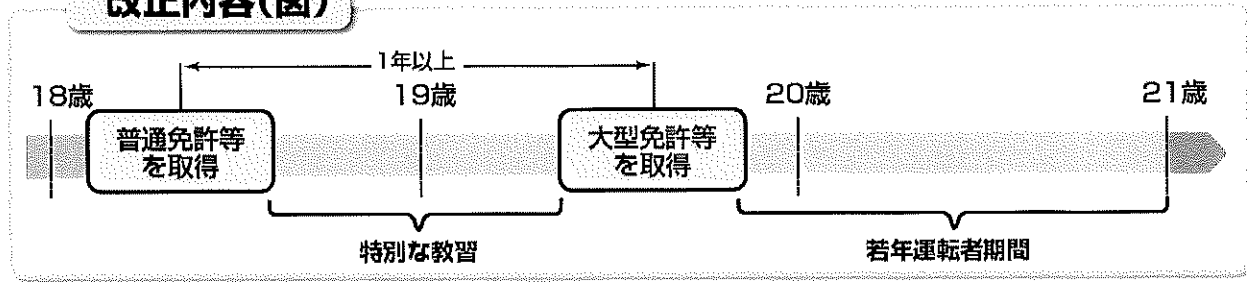
項目	内容	補足事項
引越事業者優良認定	<p>全日本トラック協会は、令和4年12月16日引越事業者の優良認定を行いました。</p> <p>認定事業者数は合計354の事業者です。</p> <p>安全安心な引越事業者の見える化・引越業界全体のコンプライアンス向上・引越の苦情やトラブル防止のため、Gマーク取得と引越管理者講習修了者在籍が認定要件です。</p>	<p>苦情対応の体制や責任の所在、適切な従業員教育をしているか等を審査し、令和4年度は新たに41事業者が認定されました。</p> 

働きやすい職場認証制度	<p>運転者職場環境良好度認証制度（働きやすい職場認証制度）の一つ星新規申請と継続申請、二つ星新規申請が実施されました。</p> <p>評価項目は「法令遵守」「労働時間・休日」「心身の健康」「安心・安定」「多様な人材確保・育成」の5分野です。</p> <p>2年間ごとに更新が必要となります。</p> <p>今後三つ星の認定申請が始まります。</p>	<p>運転者の労働条件や労働環境を第三者機関が評価し「見える化」することにより、事業者の労働環境の改善取組と求職者へのイメージ刷新を図ります。</p> 
-------------	---	---

セミトレーラの基準緩和期限延長	<p>管理部門の負担軽減のため、一定の要件を満たしたセミトレーラの基準緩和認定の期限が延長されました。</p> <p>要件：Gマーク認定事業所の自動車で前回の認定日から申請日までには事故や違反処分のないこと</p>			
			現行	改正
	要件を満足する自動車	新規:2年 初回の継続:3年 2回目以降:4年	新規:2年 継続:無期限	
	その他の自動車	新規:2年 継続:2年	新規:2年 継続:4年	

道路交通法一部改正 運転免許	<p>大型免許の受験資格が「21歳以上で普通免許保有歴3年以上」中型免許が「20歳以上で普通免許の保有歴2年以上」と規定されていますが、いずれも運転技能などを学ぶ特例教習（36時間＝座学7時限以上、技能29時限以上）を受けることを条件に「19歳以上で普通免許の保有歴1年以上」で資格要件を得ることができる特例が設けられました。</p>	<p>ただし21歳（中型免許は20歳）までに違反が一定基準を超えた場合は講習の受講義務があります。</p> <p>違反基準は累積点数が3点以上（1回の違反で3点以上の場合を除く）</p> <p>未受講、再該当の場合は特例取消</p> <p>2022年5月13日施行</p>
-------------------	---	--

改正内容(図)



項目	内容	補足事項
高速道路料金	物流コスト低減と燃料費対策として、高速道路料金の割引拡充や期限延長など、トラックの業界要望として提出しています。	令和4年度の補正予算としてETC 2.0装着車は高速道路の大口・多頻度割引最大50%は1年延長となりました。貨物運送事業者の営業用車両のみが対象となりました。予算78億。

4. 交通安全対策

項目	内容	摘要
助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ①適性診断受診 一般3,184名 初任1,878名 ②運行管理者講習 ③運輸安全マネジメント講習 ④運転記録証明交付助成 ⑤交通安全行事(チャレンジ123)参加助成 ⑥EMS機器導入助成 ⑦ドライブレコーダー機器導入助成 ⑧安全装置等導入助成 (バックカメラ) ⑨可動式突入防止装置導入助成 	<p>適齢 502名 カウンセリング[※]25名 19,125千円 一般 1,442名 基礎 525名 9,286千円 0名 0千円 14,713名 9,857千円 5,016名 (副賞含む) 7,643千円 765台 21,887千円 537台 8,565千円 565台 18,170千円 7台 210千円</p>
啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ①交通安全運動推進 チラシ配布 ②正しい運転明るい輸送運動 ③自動車事故防止啓発ステッカー ④交通安全幟の配布 (営業所×幟2枚) ⑤SafetyDrive大判ステッカー+カレンダー ⑥運輸安全マネジメントの取り組み啓発 ⑦年末年始の安全総点検 ⑧交通安全教室開催支援 ⑨新小学1年生への下敷き配布 ⑩テレビ、ラジオによるPR活動 ⑪ACTION38ステッカー(警察署) ⑫交通安全啓発(マグネット・シール) ⑬安全宣言表彰グッズ(ジップロック) 	<p>年4回 春/夏/秋/年末 各期の安全運動 告知情報掲載 飲酒運転禁止 事務所・トイレ内貼付用 交通安全 環境を守ろうノーポイ宣言 安全宣言200days取組ツール 新規事業者へマネジメントボードの配布 総点検表の配布・報告 桑員支部 17,000枚 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ 横断歩道等における歩行者優先 3万枚 エコドライブ推奨 計15,000枚 エコドライブ推奨 5,000個</p>
教育研修 その他 行事	<ul style="list-style-type: none"> ①中部トラック研修センター等の活用 ②トラックドライバーコンテスト ③街頭パトロール等の活動 ④事故防止セミナー ⑤安全宣言200days ⑥整備管理者研修 協力 ⑦初任運転者特別指導(初任ドライバー研修) ⑧初任運転者指導(eラーニング講習) ⑨特殊車両通行許可講習(オンライン申請) ⑩特殊車両通行確認制度説明会 ⑪車輪脱落事故防止セミナー ⑬陸運事業者のための安全マネジメント研修 	<p>利用者 99名 23名参加 四日市 支部活動協力 高速安協活動協力 49名(2回) 四日市 135社 3555名参加 選任前 152名 選任後194名 69名(3回) 津・四日市 利用者 199名 15名 津 35名 津 14名 四日市 30名 四日市</p>

5. 環境対策

項目	内容	摘要
助成事業	①近代化融資（ポスト新長期車購入融資） ②低公害車導入助成 ③ポスト新長期規制適合車導入助成 ④アイドリングストップの為の機器助成 蓄熱マット、毛布4枚 ⑤省エネ走行研修助成 ⑥ISO14001、グリーン経営取得継続助成	32社 36件 5,546千円 ハイブリッド車 12台 1,928千円 137台 10,960千円 蓄冷機、蓄熱・温水機50台 2,338千円 26名 227千円 近代化対策事業に記載
啓発事業	①アイドリングストップ、ノーポイ運動幟 ②アイドリングストップ宣言ステッカー ③クリーンアップ地域活動支援 ④テレビ・ラジオによるPR活動	交通安全幟と併用 環境にやさしいトラック輸送 取組ツール 南紀支部 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ
教育研修 その他	①トラックの日 ②不正軽油使用防止活動 ③環境にやさしいトラック輸送 ④グリーン経営認証取得セミナー	2支部69名 52社 2554名 取り組み宣言 中部運輸局主催セミナーを周知

6. 近代化対策 事業経営対策

項目	内容	摘要
助成事業	①近代化融資(一般融資) ②支部研修事業助成 ③運転資金等一部利子補給 ④信用保証料助成 ⑤上位免許取得促進助成 ⑥安全衛生法資格取得支援助成 ⑦ISO14001他(取得・継続)助成 ⑧グリーン経営(取得・継続)助成 ⑨働きやすい職場認証制度助成	6社 7件 796千円 3回 399千円 361件 16,673千円 36件 5,058千円 208件 13,866千円 221件 1,100千円 14社 686千円 21社 627千円 12社 240千円
情報提供 調査研究	①広報とらつく 月2回無料配布 ②定期発送による情報提供 ③交付金による各種助成事業の広報 ④事業報告書・事業実績報告書 ⑤燃料価格調査 ⑥WebKITの情報提供	全ト協より全会員へ直送 毎月1回 助成事業一覧広報配布 協会HP 報告書の提出指導と経営分析報告書 4ヶ月毎に報告 求荷求車情報ネットワーク
教育研修 その他	①国交省・標準的な運賃届出の促進 ②新入社員研修 ③運行管理者試験対策講座 ④原価計算、標準的な運賃活用セミナー(2日間) ⑤引越事業者優良認定制度説明会 ⑥引越基本講習 ⑦引越管理者講習	会員相談と届出促進について対応 10名 津 8月試験分 58名 3月試験分 78名 基礎編 33名 津 活用編 32名 津 youtube配信 17名 津 24名 津

7. 労働対策

項目	内容	摘要
助成事業	①睡眠時無呼吸症候群（SAS）・突発性 運転不能障害疾患検査費用助成 ②健康診断受診助成	718名 3,715千円 8,352名 25,012千円
啓発事業	①ホワイト物流推進運動 ②テレビ、ラジオによるPR活動 ③労働時間短縮に係る荷主啓発 ④標準運賃活用、荷主・会員啓発、 ⑤トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会	全ト協・三ト協HPで掲載 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ 計画出荷・安全な輸送時間を確保・待機時間の削減 標準的な運賃、待機削減・積卸・附帯業務の料金 持続可能なトラック輸送新聞広告
教育研修 情報提供	①過労死等防止・健康起因事故防止セミナー ②働きやすい職場認証取得セミナー ③運送事業賃金労働時間データ集 ④働き方改革特設ページ ⑤労働セミナー 労働上限時間と改善基準告 ⑥労働セミナー 働き方改革と荷主交渉 ⑦トラック運転者向け合同就職説明会 ⑧物流見学会 ⑨求人サイトの構築	18名 四日市 3名 津 11名 四日市 全日本トラック協会HPで公開 58名 津 講師 瀧澤学 56名 四日市 講師 森田司 会員5社 求職者25名 会員5社 一般参加者 14組 43名 全ト協・三ト協HPで掲載

8. 社会との共生

トラック の日 関連	トラックの日 道路清掃 トラックフェスタ2022 in 四日市 来場580名 鈴鹿サーキット 働くのりもの大集合	2支部 2箇所 69名 四日市市民公園 運営:青年部会・女性部会 鈴鹿サーキット主催 青年部会協力
緊急輸送	三重県・尾鷲市・熊野市・紀北町・大紀町・ 南伊勢町 総合防災訓練 令和4年10月23日 災害物流専門家研修 令和5年2月14・15日	三重県紀北紀南拠点（尾鷲・熊野） ①基礎知識編 ②拠点編 ③輸送編 ④自治体対応編 ⑤グループ討議

9. 適正化事業

巡回指導 パトロール 活動	①事業所巡回指導 ②新規巡回・労働時間特別巡回(内数) ③適正化事業街頭パトロール	433社 新規34社 労働時間労基通報12社 不法駐車・所在不明事業者調査
啓発事業	①過積載防止荷主啓発チラシ ②テレビ、ラジオ、映画館によるPR活動	過積載防止対策連絡会議参画 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ
教育研修 その他 行事等	①新規事業者指導 ②個別指導・相談 ③物流セミナー 「ウイズコロナに向けた日本経済の活性化」 ～経済・雇用政策はどうあるべきか～	支局講習会 9/1、3/10 通年相談業務 都度実施 75名 ホテルグリーンパーク津 講師 藤井 聡 氏

④安全性優良事業所認定 説明会 (Web) ⑤安全性優良事業所 Gマーク認定 ⑥事故防止セミナー(ドライバーの健康起因・過労死を防ぐアプローチ) ⑦初任運転者特別指導講習(ドライバー研修) ⑧初任運転者指導(eラーニング講習) ⑨トラックドライバーコンテスト ⑩特殊車両通行許可講習(オンライン申請) ⑪特殊車両通行確認制度説明会 ⑫原価計算セミナー ⑬車輪脱落事故防止セミナー ⑭陸運事業者のための安全マネジメント研修	Web18名 申請受付(新規23、更新150) 18名 以下の項目は交通安全対策事業に併記 69名(3回) 津・四日市 利用者 199名 23名 四日市 15名 津 35名 津 65名(2回) 津 14名 四日市 30名 四日市
--	--

10. その他

青年部会 青年塾 ①令和4年5月28日 28名 「2023年、2024年問題に関する課題と対応」 ②令和4年12月10日 20名 「経営者としてのお金にまつわる話」 ③令和5年3月4日 21名 「経営者の為のメンタルヘルス基礎講座」	講師 ネクスト社会保険労務士事務所 代表社会保険労務士 櫻井未来 様 講師 プルデンシャル生命保険㈱ ライフプランナー 松見和弥 様 講師 うの森クリニック 院長 山田幸典 様
女性部会 部会ミーティング 5回 中部ブロック研修会 令和4年8月3日 講演 「笑顔の心と感謝の心で夢を叶える」 JETSメンバーによるダンス 全国研修会 令和4年10月11日 「感性コミュニケーション～男女脳差 理解による交渉力アップ講座」 全国研修会 令和5年3月20日 「物流の2024年問題」 改善基準告示の改正	活動打合せ・情報交換・意見交換 健康梅ドリンクづくり実習 講師 福井県立福井商業高校 チアリーダー部 JETS 顧問 五十嵐裕子 様 講師 株式会社 感性リサーチ 代表取締役 黒川伊保子 様 講師 全日本トラック協会 副会長 馬渡雅敏 (佐賀県トラック協会 会長)
情報提供 その他 ①トラック税制の基礎知識 ②関係機関への陳情活動	全日本トラック協会ホームページで公開 県選出国會議員 政党県連 県議会会派
事業者 大会 全国トラック運送事業者大会 ①健康経営への取り組みと 交通事故防止対策の推進 ②ドライバーの確保と働き方改革	開催地 名古屋市 記念講演 戦国武将の経営学 歴史研究家 井沢元彦
運行管理 者試験 ① 第1回試験 8月6日～9月4日 ② 第2回試験 2月18日～3月19日	受験者数486名 合格者数171名 受験者数416名 合格者数148名
運行管理者試験対策講座	津と四日市で開催

付属明細書については、該当事項がないため作成していない。